# 九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 **No.392**

2023（令和5）年6月1日（木）発行

■ **はらまち九条の会** は、戦争放棄の憲法９条を守り、永久に「戦争をしない国・日本」であることを願い、「鈴木安蔵の出身地の九条の会」を誇りに活動する自由な市民の会です。支持政党や宗教を問わず、何の拘束もなく、匿名でも入会できます。■結成は2005年12月。会員は南相馬市原町区を中心に364名。 ■会費は年千円。隔月で会報を発行しています。

◀本会のシール（デザイン：朝倉悠三さん） ■ご入会申し込みは事務局員へ！

本会の総会は約束では“年1回開会”ですが、コロナ禍のため2019年の「総会と若松丈太郎氏講演会」以来開会されず、4年ぶりの総会です。今年は「総会」と現在全国で話題になっている映画の「上映会」です。お誘い合わせてご出席ください。

## 2019年以来の総会　原発事故被災民としてみておきたい映画

## はらまち九条の会 総会・映画「原発をとめた裁判長」上映会

**○日時：6月18日（日）総会午後1時～2時・映画会2時20分～4時**

**○会場：南相馬市マルチメディアホール**（原ノ町駅前・市民情報交流センター）

総会には、郵送の「総会資料」をお持ちください。

映画会は＜入場無料＞です。知人や友人と自由にご入場ください。

**映画**　小原浩靖監督・2022年・上映時間92分・カラー

**『原発をとめた裁判長　そして原発をとめる農家たち』**

「我が国の原発の耐震性は極めて低い。」

「環境問題を原子力発電所の運転継続の根拠とすることは、甚だしい筋違いである。」

福井地方裁判所民事第2部裁判長裁判官　樋口英明

2014年5月21日、関西電力大飯原発の運転差し止めの判決を下した樋口英明・福井地裁元裁判長は定年退職後、日本の全ての原発に共通する危険性を説く活動を始めた。3.11原発事故後ドイツは全原発停止を決断する一方で、日本の岸田政権は原発の再稼働や60年延長をめざす。私たち福島の原発事故被災民はどう考え行動すればいいのか。判決と二本松市の農民の活動を描く。

**○会場での販売：**『映画 原発をとめた裁判長 パンフレット』800円

『日本国憲法と鈴木安蔵』立正大学名誉教授金子勝著1，100円

（5月3日「鈴木安蔵を讃える会」主催の金子勝先生講演会でも頒布し好評でした。憲法学者鈴木安蔵を知るため分りやすい絶好の書です）

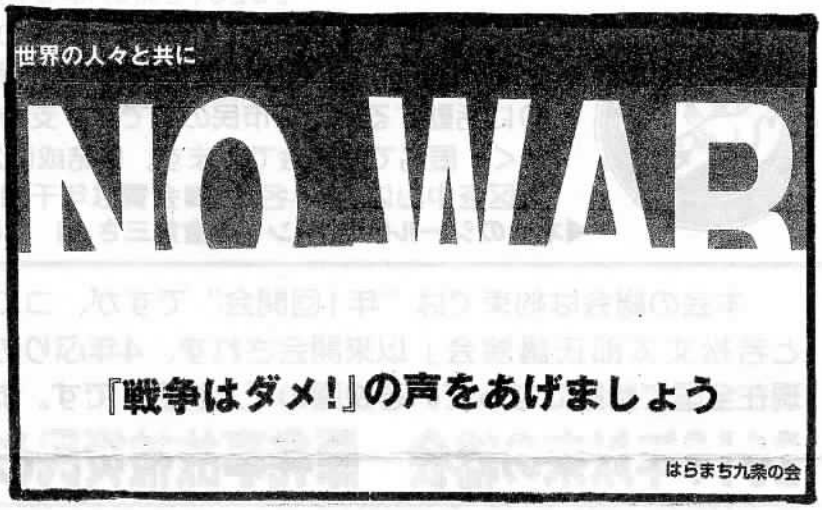
No.392

# 5月3日憲法記念日、"はらまち九条の会" 2つの活動

## ①全市全新聞にチラシを折り込む

○今年も南相馬市の全新聞に、<右>の「9条を守ろうの意見広告チラシ」約1万7千枚を折り込みました。○この活動は2008年5月が最初で、2013年5月からは毎年行ってきたので、今年で12年（回）目を数えます。

○今年もチラシの大きさはB4判。表面はウクライナの国旗に「NO WAR」と反戦を表現。裏面は78年前の昭和20年に原町もアメリカ軍機に空襲され、犠牲者は13名。そんな戦争の反省から「平和憲法」が生まれたと訴えています。




## ②全国紙「改憲反対」の意見広告に協賛

○活動の2つ目は、2003年開始の「新聞紙上のデモ」とよばれる『朝日新聞・毎日新聞・読売新聞』の全国紙の意見広告に協賛し、はらまち九条の会の名を公表。会員さんの名もたくさん見つけることができます。

# "南相馬市小高区の誇り"として鈴木安蔵を紹介

▼憲法施行76年の憲法記念日・5月3日付『福島民報』1面コラム「あぶくま抄」

あぶくま抄

南相馬市小高区にとって、土地の誇りと言える。英才と縁を結ぶ。文壇に名を残す島尾敏雄、埴谷雄高…。日本国憲法の間接的起草者とされる鈴木安蔵もその一人だ。

119年前、まちなかに生を受けた▼進学した旧制相馬中では、いじめが横行していた。正義感が極めて強かったのだろう。教師にかけ合い、問題を収めた。1923（大正12）年の関東大震災発生後、失業して食うに困る人があふれた。何とかならぬか。哲学に答えを求め、京都帝国大の門をたたいた。観念論に失望し、経済に道を変え、マルクス主義に傾倒したとされる▼波乱の人生だ。治安維持法違反で逮捕される。獄中で転機が訪れた。差し入れの本をきっかけに憲法研究の必要性を感じた。市井に戻り、仲間と憲法草案を練り上げる。画期的な国民主権の考え方がGHQの目に留まった。わが福島の先人の英知が、世界に知られる103条の屋台骨となった▼憲法記念日のきょう3日、生家が公開される。震災で壊れかけたが、地元有志が資金を集め、保存にこぎ着けた。草案には平和思想も盛り込まれていた。在野の憲法学者の精神は傷みも古びもせず、戦雲が漂う今の世に一段と輝きを増す。〈2023・5・3〉